



世界遺産 熊野参詣道に学生茶屋が一日オープン 希少な「釜炒り茶」を外国人観光客に英語でPR

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)の峯俊智穂地域創造学部准教授のゼミ生達が、5月28日(日)、世界遺産・熊野参詣道で有名な和歌山県田辺市本宮町のごく一部の地域に伝わる特産の音無茶のうち「釜炒り茶」を観光客にPRします。

「釜炒り茶」のPRを行うのは地域創造学部の峯俊ゼミの2,3年生11人です。学生達は地元JAの協力の下、熊野本宮大社から2キロほど離れた熊野参詣道(中辺路)伏拝王子と熊野本宮大社境内の2つのグループに分かれてPR活動を行います。

このうち伏拝王子では地元の女性グループが運営している茶屋(休憩所)を手伝います。伏拝地区には茶畑が広がっており、江戸時代には実際に茶屋があったと言われています。「釜炒り茶」は地元で栽培されている希少な茶葉を鉄釜で炒るなど、独特の製法で作られるものです。今回は氷出しとお湯出しの2種類を準備し、そろいの法被とエプロンを着用して観光客らに振る舞います。また、田辺市本宮町は近年、欧米豪からの観光客が増加しているため、学生達は「釜炒り茶の魅力」を紹介する英語版チラシを作成・配付してPRもします。

熊野本宮大社のグループは、学生達が平安時代の熊野詣の衣装を着用して境内の観光客に特産品のPRを行います。

学生が地域の隠れた特産品にスポットをあて、世界遺産熊野参詣道を行き交う外国人観光客にPRする様子をぜひ取材くださいますようお願いいたします。

【ポイント】

- 熊野古道の周辺集落で作られる希少な「釜炒り茶」に注目し、JAみくまのとの共催でPR。
- 地元の女性と学生茶屋をオープンさせ、英語版チラシで外国人観光客にもPR。
- 熊野本宮大社では学生による熊野詣の平安衣装のコスプレによる特産品のPR。

記

日時：2017年5月28日(日)10時～15時

会場：①熊野参詣道(中辺路)伏拝王子の茶屋(和歌山県田辺市本宮町伏拝)
②熊野本宮大社境内(和歌山県田辺市本宮町本宮)

参加者：追手門学院大学地域創造学部峯俊ゼミの2,3年生11人

内容：①地元の女性と学生が茶屋をオープン。「釜炒り茶」の振る舞い・販売とPR
②平安衣装を着た学生による特産品のPR

当日の連絡先：090-5658-7300(広報課携帯)

この資料の配付先：田辺市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立



釜炒り茶の茶葉